



小学校中学年《3・4年生》のみなさんへ

冬休みおすすめ本リスト

登別市立図書館 [2021年版]

	書名 作者名 しゅっぱんしゃ	ないよう		書名 作者名 しゅっぱんしゃ	ないよう
絵本	「300年まえから伝わりとびきりおいしいデザート」  エミリー・ジェンキンス 文 ソフィー・ブラッコール 絵 横山 和江 訳 あすなる書房	フルーツに生クリーム、そしてさとうがあればかんたんにできるデザート、フルーツ・フル。同じデザートの作り方が時代によってどんなふうにかわっていくのか？4つの時代と場所、それぞれのおいしい作り方をしょうかいしていきます。	図書	「いのちのカプセルにのって」  岡田 なおこ 著 サカイ ノビー 絵 汐文社 □	指があまりうまく動かせないあかりは「わかば学級」に通っています。赤ちゃんはうちゅうの果てから「いのちのカプセル」にのってここに来ると聞いて、子犬がほしくなりました。子犬のマモルをかってお世話をするようになってから、少しずつやりたいことやれることがふえてきて…。
絵本	「奇跡の一本松」  大津波をのりこえて なかだ えり 絵・文 汐文社	東日本大しんさいで、岩手県陸前高田市の7万本の松がつぎつぎと津波(つなみ)に流される中、たった一本だけ残った松の木。昔から何度も津波にみまわれてきた松は、ふっこうと希望のしょうちょうとして、人びとをはげましています。	図書	「モノのねだん事典」  高すぎ？ 安すぎ!? 大澤 裕司 文 死後くん 絵 ポプラ社	「自販機はねだんを自由に決めていい」「信号って、歩行者用よりも車用のほうが高い」「給食費はほとんど材料費代だけ」「校長先生のイスは学校一のイス」気になるいろいろなモノのねだんを、おもしろくまとめてしょうかいしています。
絵本	「雪虫」  石黒 誠 文・写真 福音館書店 □	体長3～4ミリの小さな雪虫の正式な名前は「トドネオオワタムシ」というアブラムシの仲間です。雪がふりはじめる前に飛ぶ雪虫が、夏の間はどのようにしてすごしているのか、どんな一生をおくるのかを写真で追いかけてみます。	図書	「凸凹あいうえおの手紙」  別司 芳子 著 ながおか えつこ 絵 くもん出版	小学校でちいきのおじいさんやおばあさんを学校にしょうたいする事になりました。でも、大地が手紙を出した佐山(さやま)さんだけ返事が来ません。ようすを見に行くと目がふじゆうなことに気づき、点字で手紙を書けばいいと気づいたのですが…。
絵本	「はじめてのオーケストラ」  佐渡 裕 原作 はた こうしろう 絵 小学館	みーちゃんは、オーケストラのしきしゃをやっているパパに、1年生になったらコンサートにしょうたいすると言われていました。新しいドレスをきて、いよいよはじめてオーケストラをききに行く日がやってきました。とくべつな夜が始まります！	図書	「ぼくはくまですよ」  フランク・タシュリン 文・絵 小宮 由 訳 大日本図書	さわがしい工場の真ん中で冬眠からめざめたクマは、工場の人に「毛皮のコートを着て、ヒゲをそらないだらしない人間だ！」と言われてしまいます。「ぼくは、くまですが」と言っても聞いてもらえません。おもしろいけど、ちょっとモヤモヤして考えさせられるおはなしです。
図書	「ふしぎの国のアリス」  L.キャロル 作 石崎 洋司 文 千野 えなが 絵 ポプラ社	しゃべるウサギを追いかけて、あなに落ちたアリス。ついたところは、今まで見たこともないふしぎの国…。歩くランプ、おかしなぼうし屋、おかしな三月ウサギわらってばかりのネコなど、はちゃめちゃだけど楽しいことだらけのアリスの大ぼうけんがはじまります。	図書	「生き物たちの冬ごし図鑑 動物」  さが 探して発見!観察しよう 今泉 忠明 監修 汐文社	冬は生き物にとってきびしいきせつですが、生き物たちはそれぞれのやり方で寒い冬をすごし、春をむかえるじゅんびをしています。クマやシマリス、ムササビ、シマヘビなど、動物たちの冬を生きのびるすがたをしょうかいします。